

## 4 「食の安全」について

## (1) 食の安全に対する関心度

問23 あなたは、食の安全に関心がありますか。(○は1つだけ)

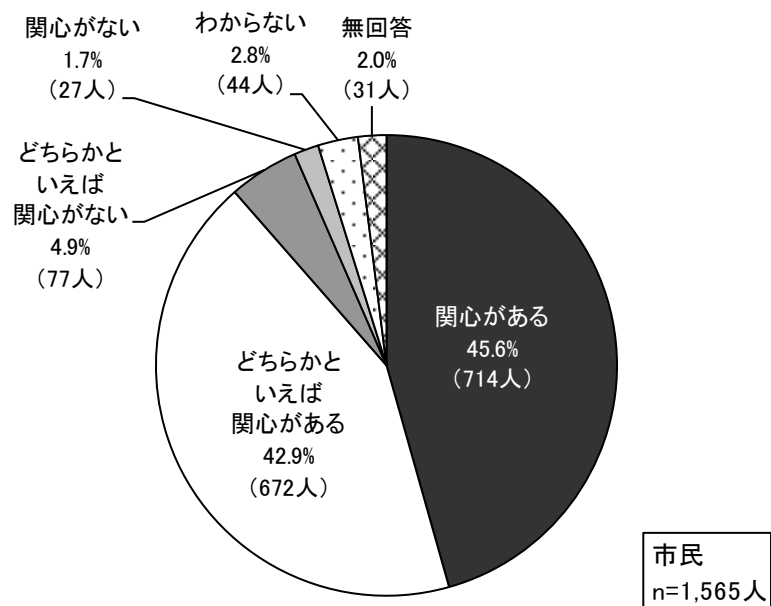
9割弱が食の安全に「関心がある」と回答

## 【全体結果】

「関心がある」(45.6%)、「どちらかといえば関心がある」(42.9%)と回答した人を合わせた割合は9割弱(88.6%)となっている。

一方、「関心がない」(1.7%)、「どちらかといえば関心がない」(4.9%)と回答した人を合わせた割合は1割弱(6.6%)となっている。

図 4.1-1 食の安全に対する関心度



【性別・年齢別】

「関心がある」「どちらかといえば関心がある」を合わせた割合は、40歳代と60歳代では9割を超え、その他の年代も8割台となっている。

性別では、各年代とも女性の方が「関心がある」「どちらかといえば関心がある」を合わせた割合が高くなっている。

図 4.1-2 食の安全に対する関心度（年齢別・全体）

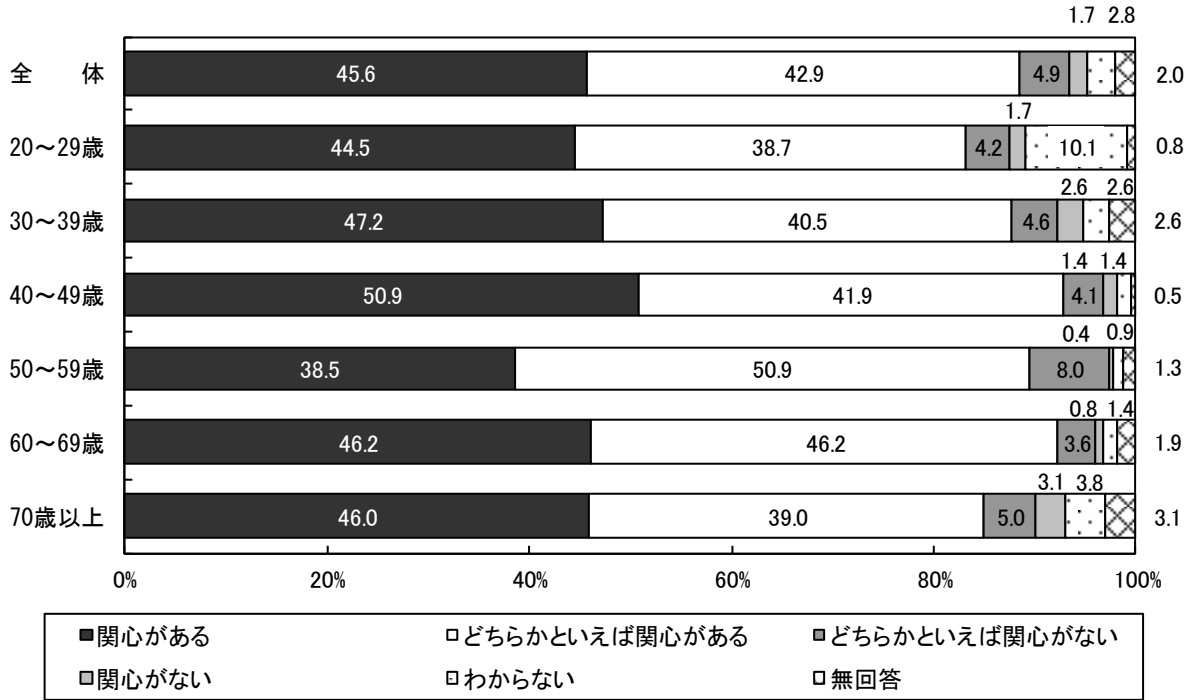
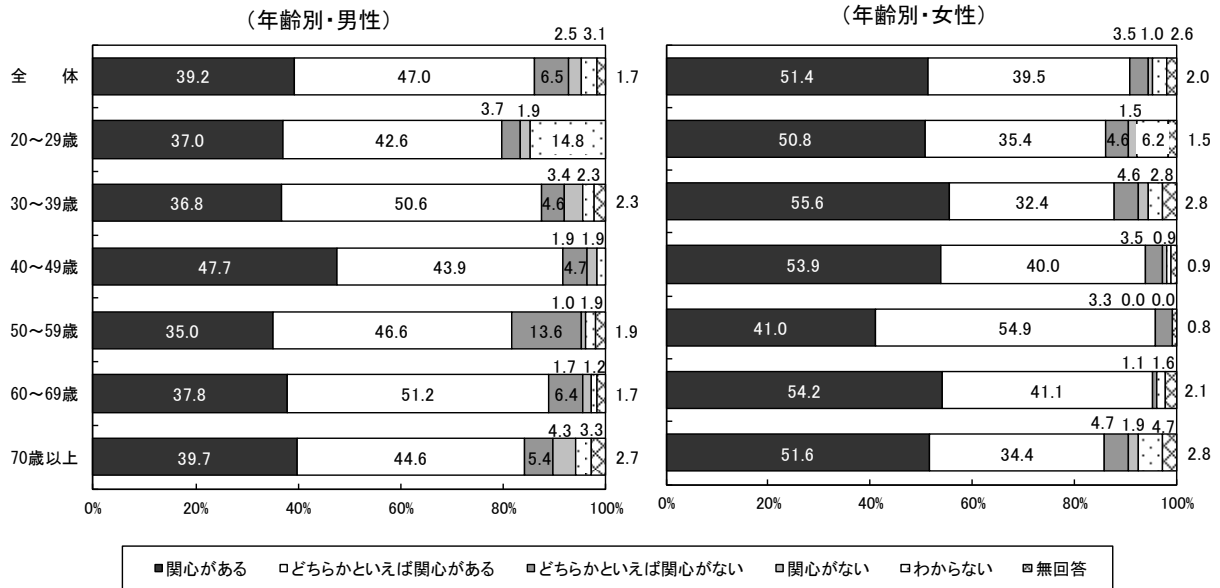


図 4.1-3 食の安全に対する関心度



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,565	119	195	222	226	364	420	19
男性	707	54	87	107	103	172	184	0
女性	817	65	108	115	122	190	215	2

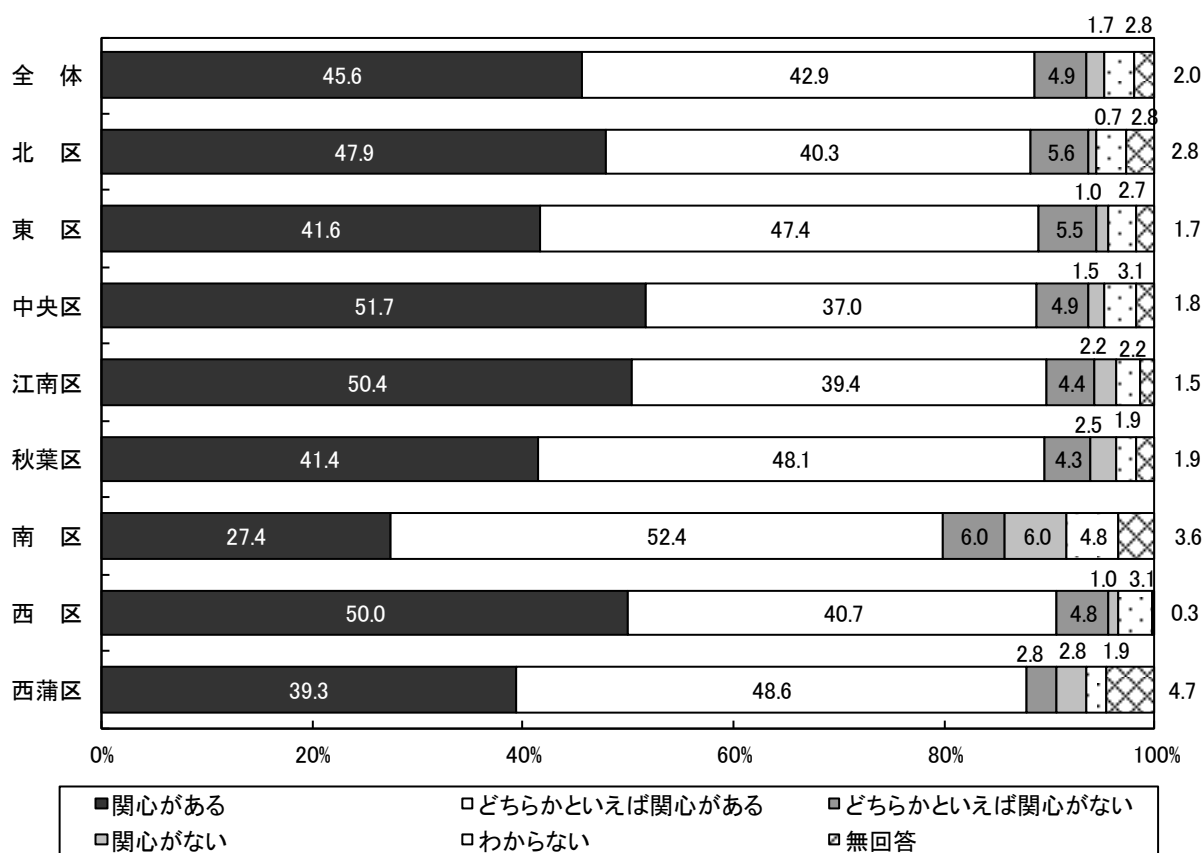
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

## 【地区別】

「関心がある」「どちらかといえば関心がある」を合わせた割合は、西区（90.7%）で最も高く、9割を超えている。

図 4.1-4 食の安全に対する関心度（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,565	144	291	327	137	162	84	290	107	23

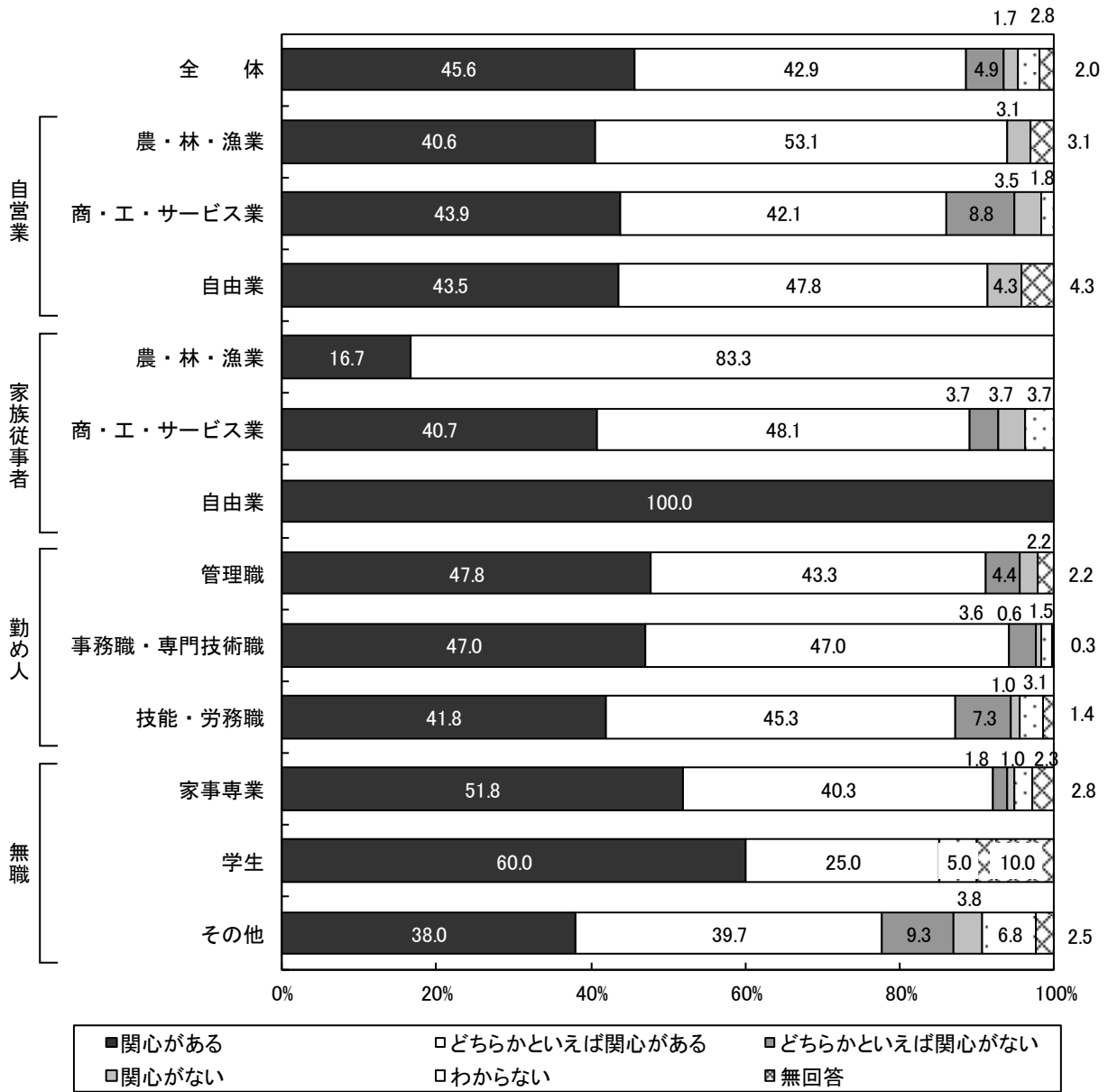
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 4.1-5 食の安全に対する関心度（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,565	32	57	23	6	27	9

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
90	336	287	390	20	237	51

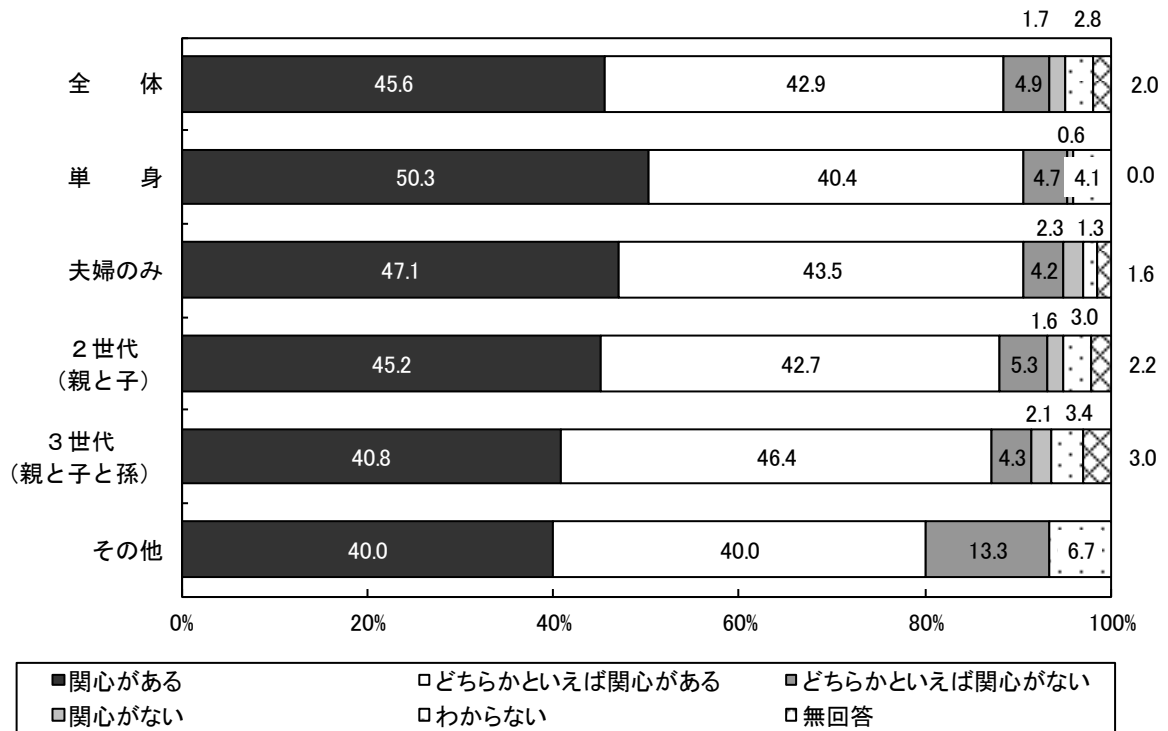
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

## 【家族構成別】

「関心がある」「どちらかといえば関心がある」を合わせた割合は、単身と夫婦のみ（いずれも90.6%）で最も高くなっている。

図 4.1-6 食の安全に対する関心度（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,565	171	384	737	233	15	25

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

## (2) 特に関心があること

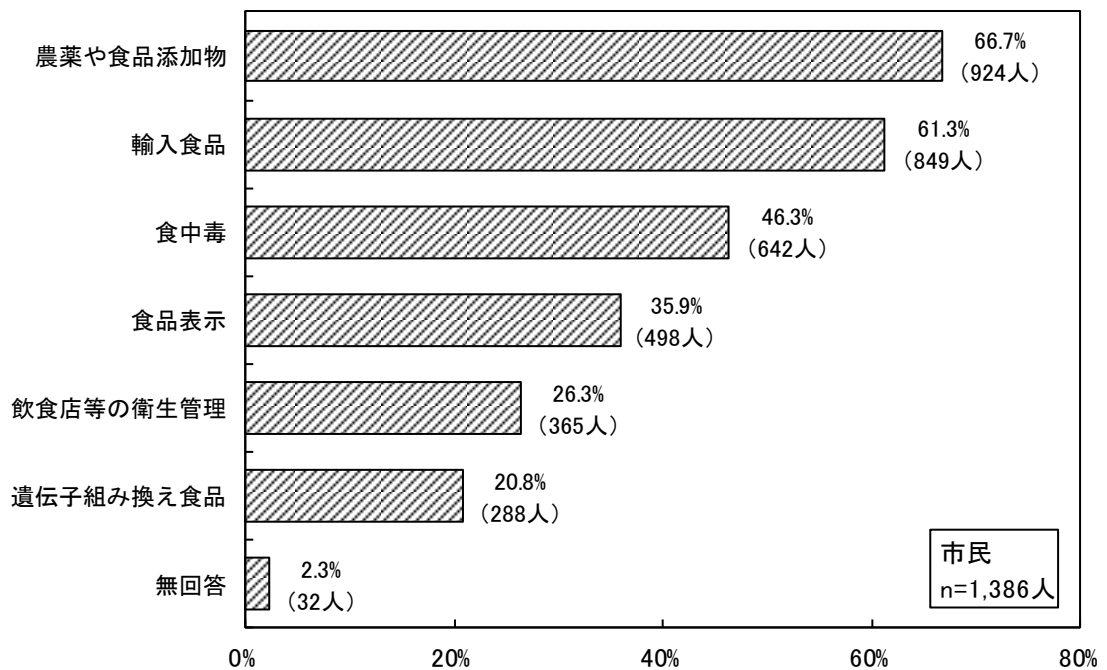
問23-1 どのようなことに関心がありますか。(〇は3つまで)

7割弱が「農薬や食品添加物」と回答

## 【全体結果】

特に関心があることについては、「農薬や食品添加物」(66.7%)と回答した人が最も多く、以下「輸入食品」(61.3%)、「食中毒」(46.3%)、「食品表示」(35.9%)、「飲食店等の衛生管理」(26.3%)、「遺伝子組み換え食品」(20.8%)となっている。

図4.2 特に関心があること



## 【性別・年齢別】

各年代とも、「農薬や食品添加物」「輸入食品」の割合が高くなっている。20歳代では「食中毒」の割合も高くなっている。

表 4.1 特に関心があること（年齢別・全体）

	対象者	農薬や食品添加物	輸入食品	食中毒	食品表示	飲食店等の衛生管理	遺伝子組み換え食品	無回答
計	1386	66.7	61.3	46.3	35.9	26.3	20.8	2.3
20～29歳	99	45.5	46.5	57.6	36.4	51.5	12.1	1.0
30～39歳	171	66.1	48.0	49.7	31.6	39.8	25.7	2.3
40～49歳	206	65.5	61.2	46.1	28.6	29.1	25.2	1.9
50～59歳	202	68.8	66.3	48.0	35.1	25.7	24.3	0.0
60～69歳	336	72.9	66.4	41.1	42.6	21.7	22.9	1.2
70歳以上	357	67.2	64.1	45.9	35.9	15.4	14.6	5.3
年齢不明	15	46.7	60.0	40.0	46.7	40.0	13.3	0.0

対象者：人/回答：%

表 4.2 特に関心があること（年齢別・男性）

	対象者	農薬や食品添加物	輸入食品	食中毒	食品表示	飲食店等の衛生管理	遺伝子組み換え食品	無回答
計	609	60.9	58.1	48.4	32.3	29.2	18.7	2.5
20～29歳	43	39.5	46.5	51.2	32.6	53.5	11.6	0.0
30～39歳	76	59.2	43.4	50.0	28.9	36.8	26.3	3.9
40～49歳	98	58.2	57.1	49.0	24.5	35.7	21.4	4.1
50～59歳	84	60.7	69.0	54.8	27.4	26.2	20.2	0.0
60～69歳	153	67.3	62.1	41.8	37.9	27.5	22.9	0.7
70歳以上	155	63.2	59.4	49.7	36.1	18.1	10.3	4.5
年齢不明	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

対象者：人/回答：%

表 4.3 特に関心があること（年齢別・女性）

	対象者	農薬や食品添加物	輸入食品	食中毒	食品表示	飲食店等の衛生管理	遺伝子組み換え食品	無回答
計	743	71.7	63.4	44.7	38.8	24.2	22.9	2.2
20～29歳	56	50.0	46.4	62.5	39.3	50.0	12.5	1.8
30～39歳	95	71.6	51.6	49.5	33.7	42.1	25.3	1.1
40～49歳	108	72.2	64.8	43.5	32.4	23.1	28.7	0.0
50～59歳	117	74.4	64.1	43.6	41.0	25.6	26.5	0.0
60～69歳	181	77.3	69.6	40.3	46.4	17.1	23.2	1.7
70歳以上	185	71.4	67.0	42.2	36.2	13.5	18.9	5.9
年齢不明	1	0.0	100.0	100.0	0.0	100.0	0.0	0.0

対象者：人/回答：%

## (3) 食の安全に関する知識を持っている程度

問24 あなたは、食の安全に関してどの程度知識を持っていますか。(○は1つだけ)  
「食の安全に関する知識」とは、次のようなものに関する知識とお考えください。

## 「食の安全に関する知識」の例

- ◆ 食品表示の見方について  
(消費期限や賞味期限、保存料などの食品添加物、遺伝子組み換え食品、食物アレルギーなど)
- ◆ 食中毒の予防方法について
- ◆ 輸入食品について
- ◆ 健康食品について

その他、農薬使用の実態や鳥インフルエンザに関する知識など

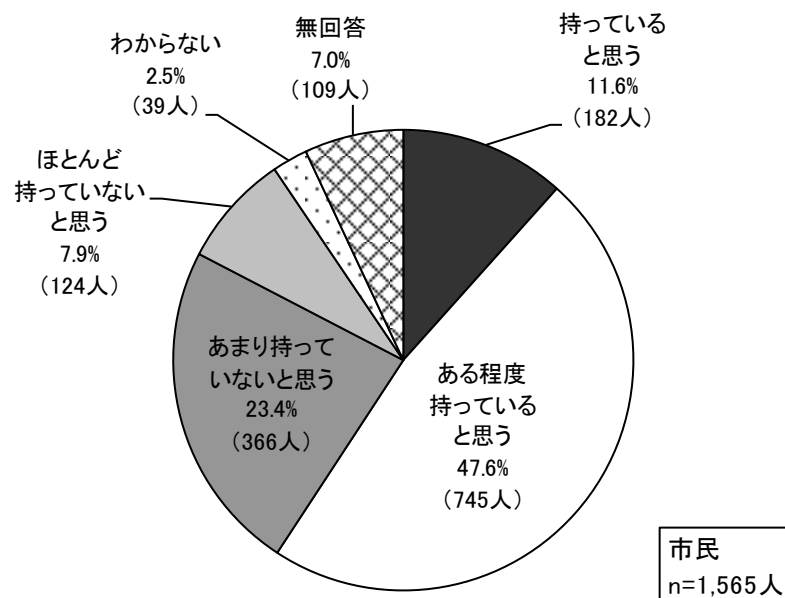
6割弱が知識を持っていると回答

## 【全体結果】

「持っていると思う」(11.6%)、「ある程度持っていると思う」(47.6%)と回答した人を合わせた、知識を持っている人の割合は6割弱(59.2%)となっている。

一方、「あまり持っていないと思う」(23.4%)、「ほとんど持っていないと思う」(7.9%)と回答した人を合わせた割合は3割強(31.3%)となっている。

図 4.3-1 食の安全に関する知識を持っている程度





【性別・年齢別】

「持っていると思う」「ある程度持っていると思う」を合わせた割合は、60歳以上で高く6割を超えている。一方、「あまり持っていないと思う」「ほとんど持っていないと思う」を合わせた割合は、30歳代（48.2%）と20歳代（42.9%）で高くなっている。

性別では、各年代とも、女性の方が「持っていると思う」「ある程度持っていると思う」を合わせた割合が高くなっている。

図 4.3-2 食の安全に関する知識を持っている程度（年齢別・全体）

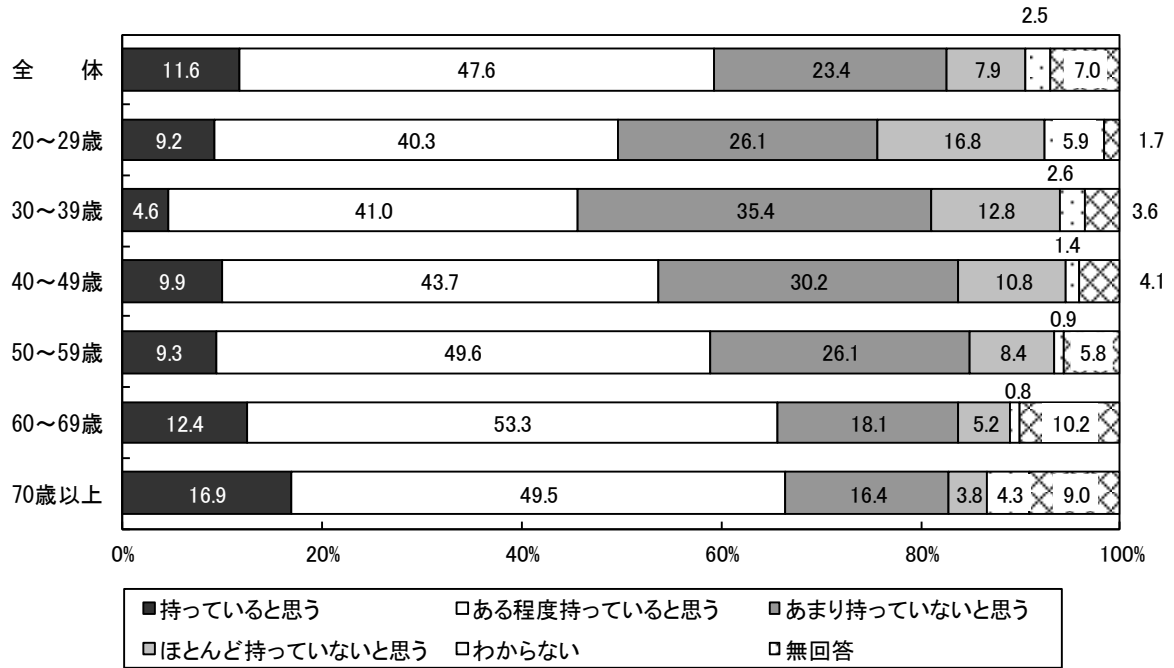
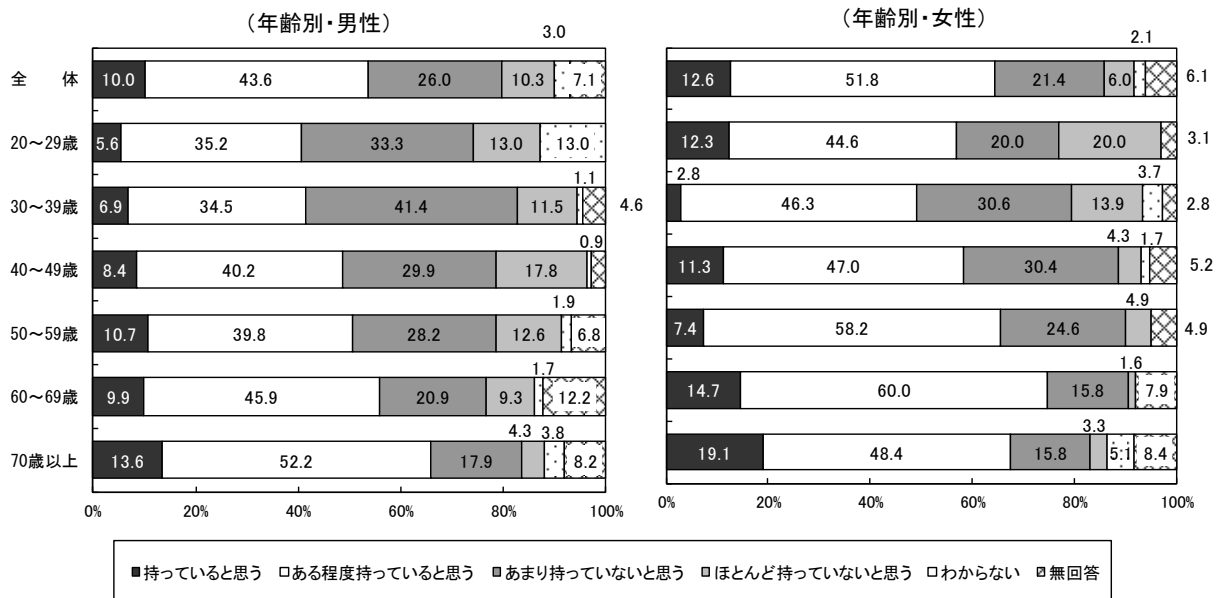


図 4.3-3 食の安全に関する知識を持っている程度



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,565	119	195	222	226	364	420	19
男性	707	54	87	107	103	172	184	0
女性	817	65	108	115	122	190	215	2

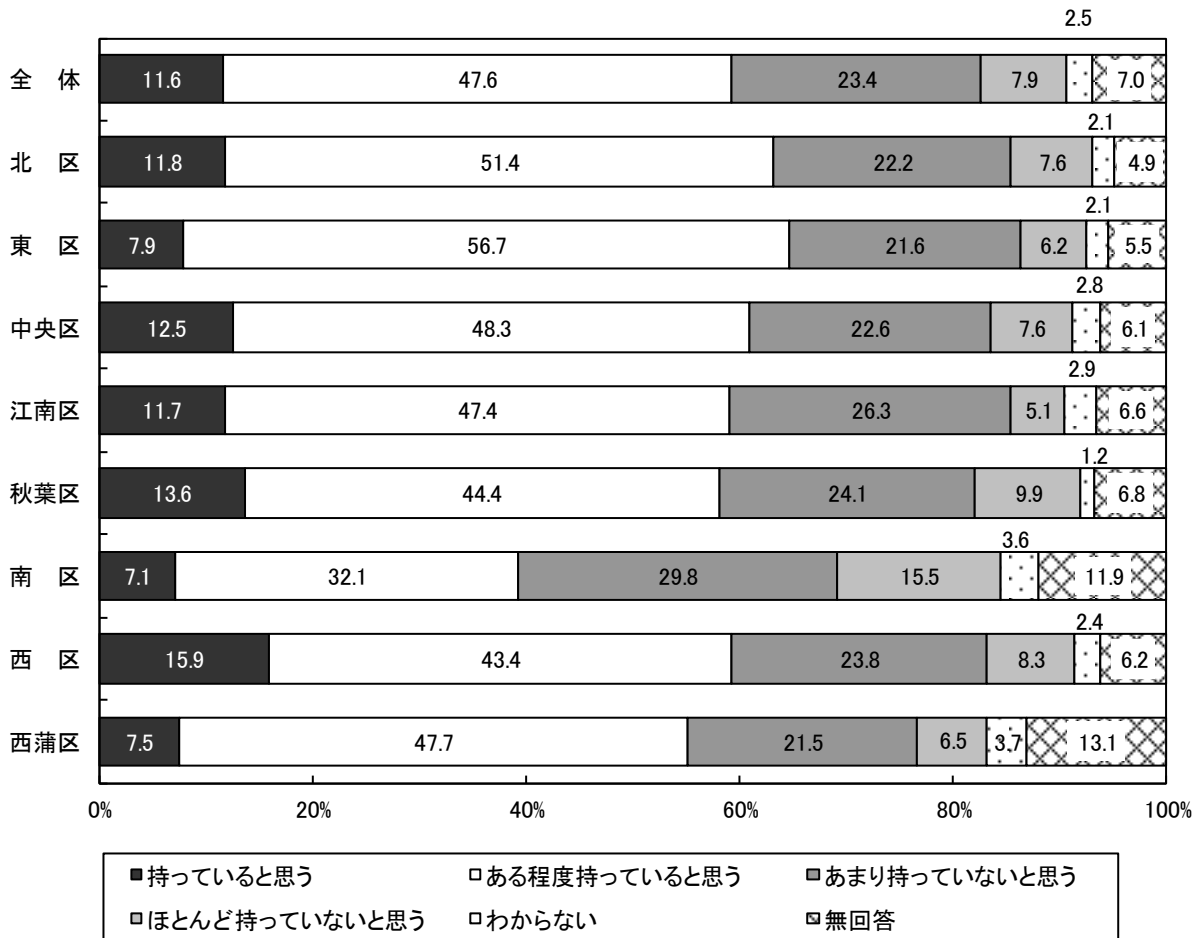
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「持っていると思う」「ある程度持っていると思う」を合わせた割合は、東区(64.6%)と北区(63.2%)で高くなっている。

図 4.3-4 食の安全に関する知識を持っている程度（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,565	144	291	327	137	162	84	290	107	23

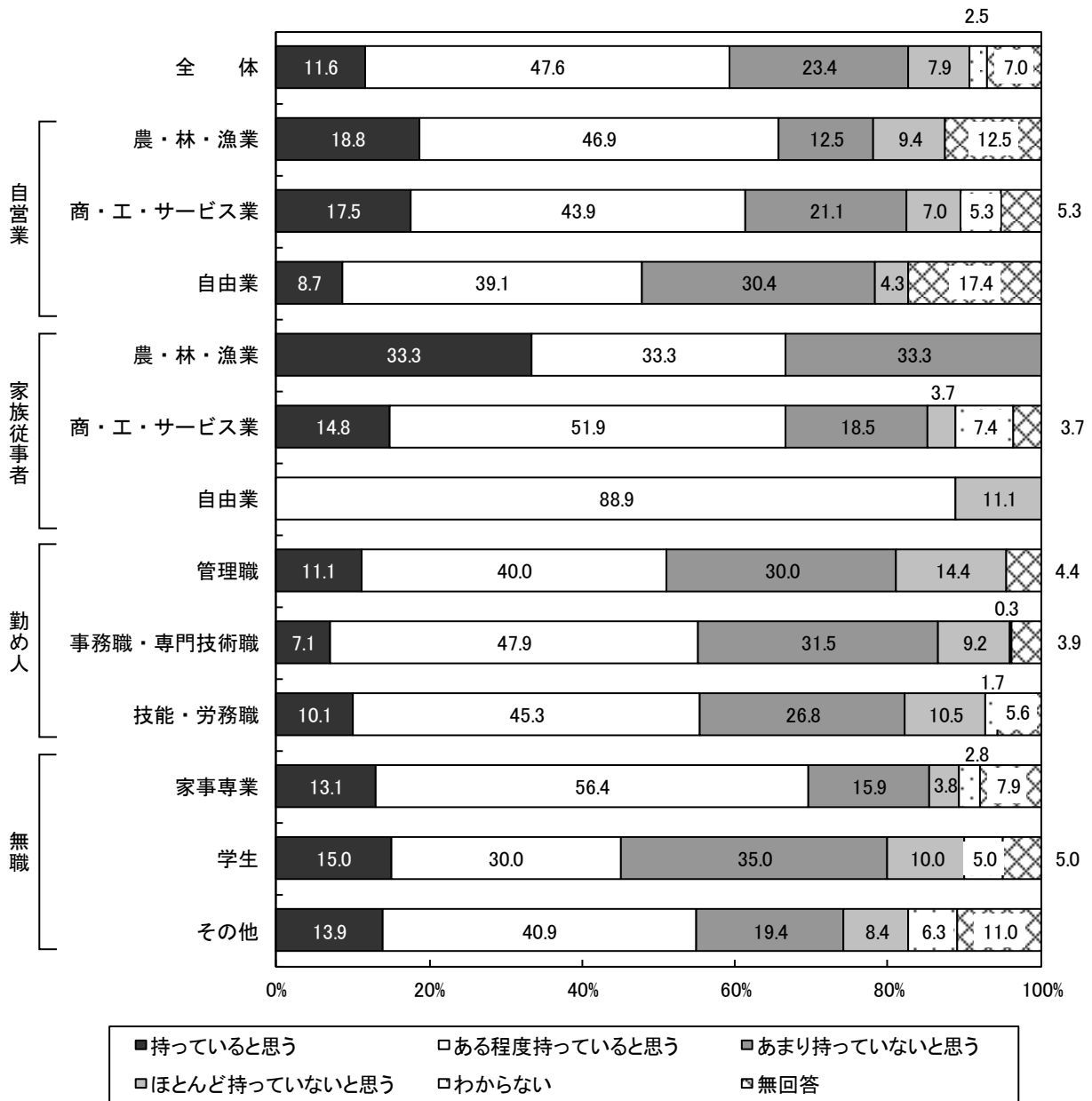
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 4.3-5 食の安全に関する知識を持っている程度（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,565	32	57	23	6	27	9

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
90	336	287	390	20	237	51

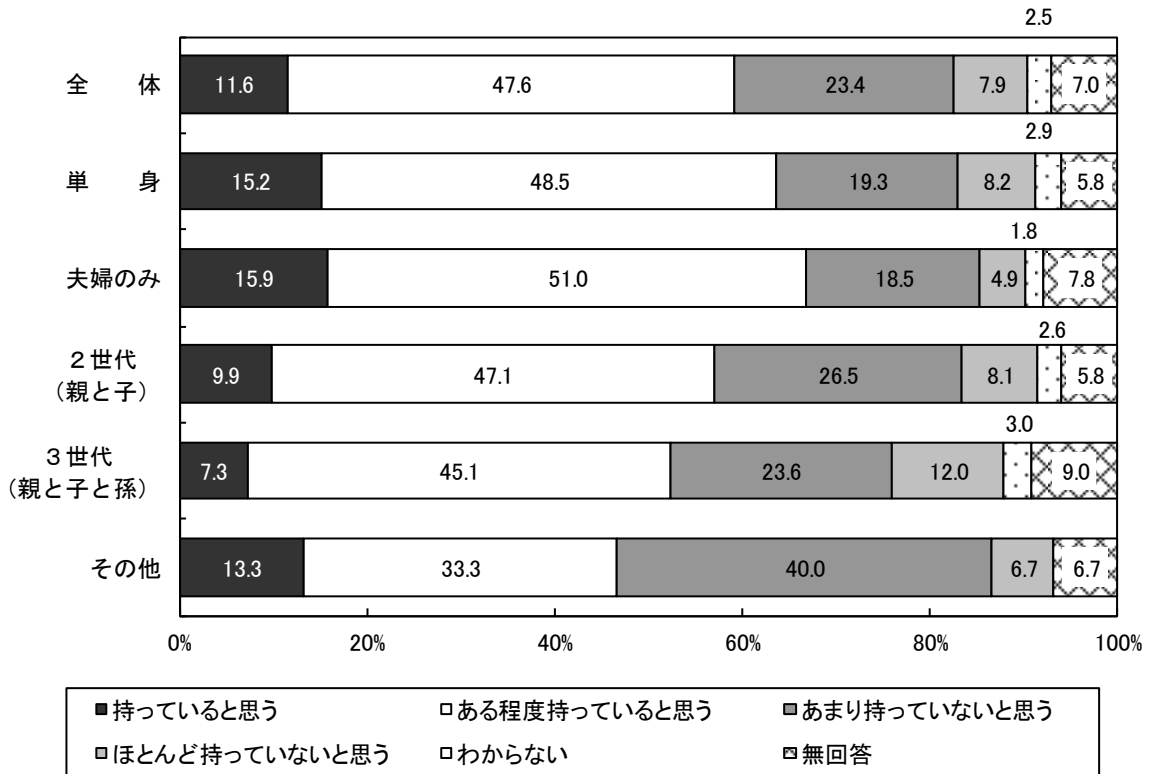
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

【家族構成別】

「持っていると思う」「ある程度持っていると思う」を合わせた割合は、夫婦のみ（66.9%）で高くなっている。

図 4.3-6 食の安全に関する知識を持っている程度（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,565	171	384	737	233	15	25

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

## (4) 安全な食生活を送ることについての判断の程度

問25 あなたは、安全な食生活を送るために、自ら食品選択等の判断をしていますか。  
(○は1つだけ)

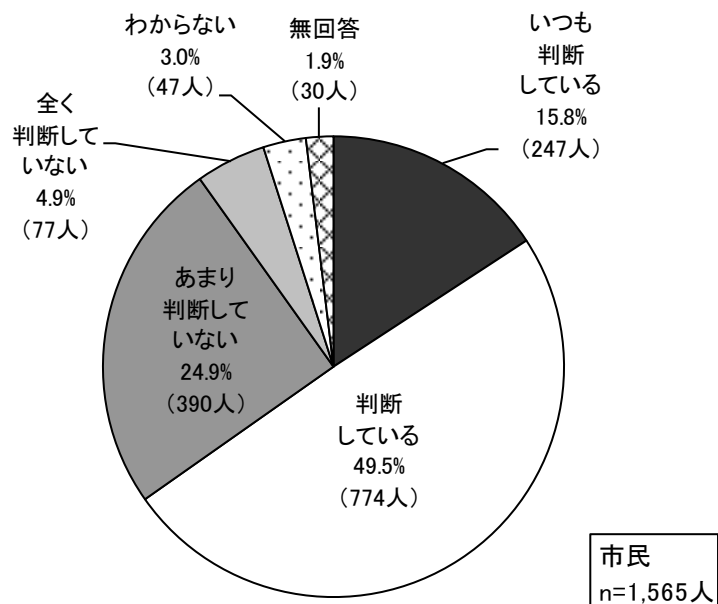
全体の約3分の2が判断していると回答

## 【全体結果】

「いつも判断している」(15.8%)、「判断している」(49.5%)と回答した人を合わせた、判断している人の割合は全体の約3分の2(65.2%)となっている。

一方、「あまり判断していない」(24.9%)、「全く判断していない」(4.9%)と回答した人を合わせた割合は約3割(29.8%)となっている。

図 4.4-1 安全な食生活を送ることについての判断の程度



【性別・年齢別】

「いつも判断している」「判断している」を合わせた割合は、60歳代で最も高く、約7割となっている。一方、「あまり判断していない」「全く判断していない」を合わせた割合は、20歳代（38.7%）で最も高く4割弱となっている。

性別では、「いつも判断している」「判断している」を合わせた割合は、各年代で女性の方が男性より高くなっている。

図 4.4-2 安全な食生活を送ることについての判断の程度（年齢別・全体）

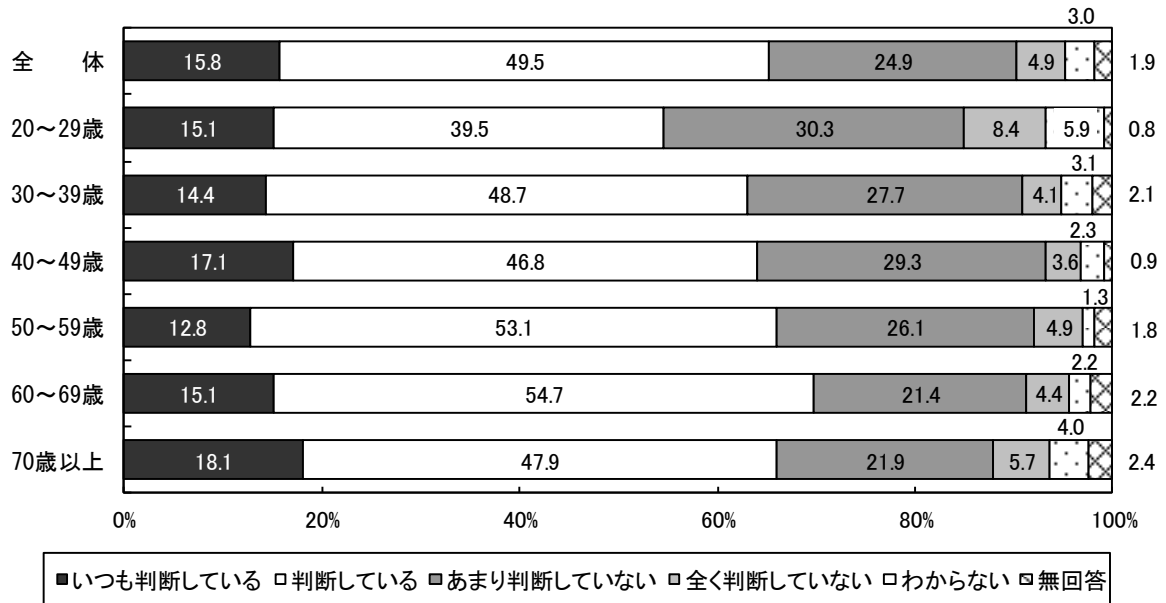
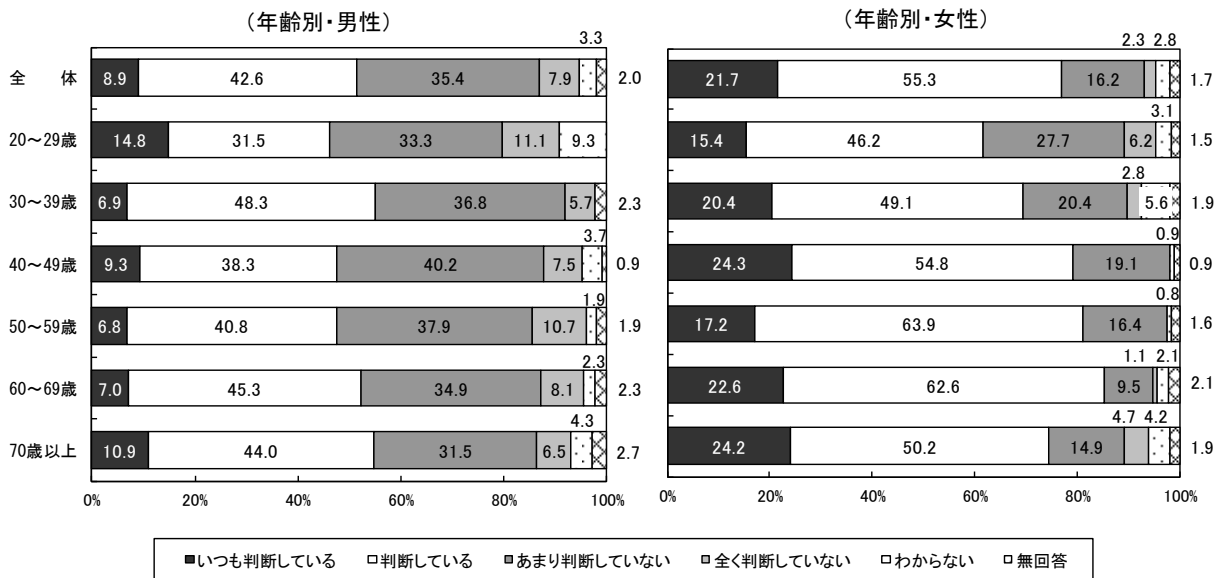


図 4.4-3 安全な食生活を送ることについての判断の程度



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,565	119	195	222	226	364	420	19
男性	707	54	87	107	103	172	184	0
女性	817	65	108	115	122	190	215	2

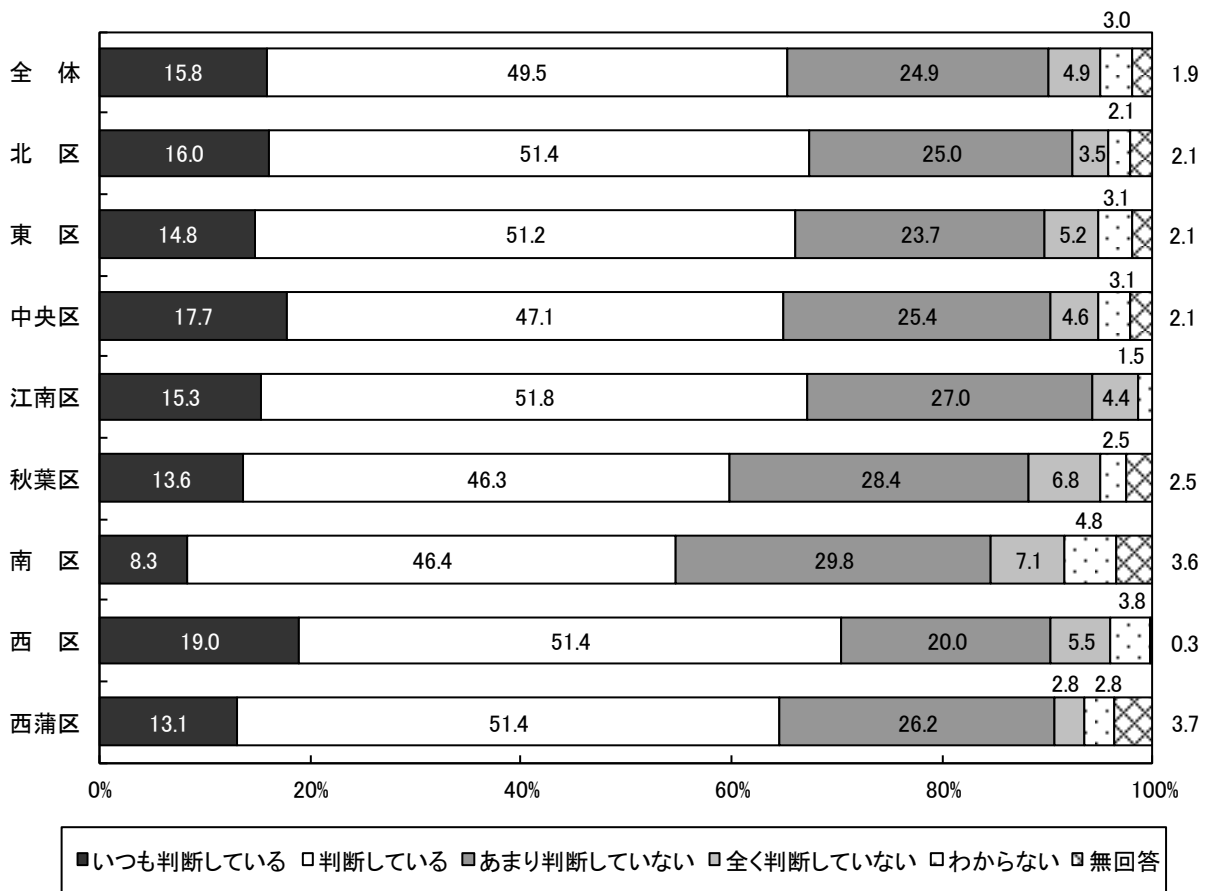
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

【地区別】

「いつも判断している」「判断している」を合わせた割合は、西区（70.3%）で最も高くなっている。

図 4.4-4 安全な食生活を送ることについての判断の程度（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,565	144	291	327	137	162	84	290	107	23

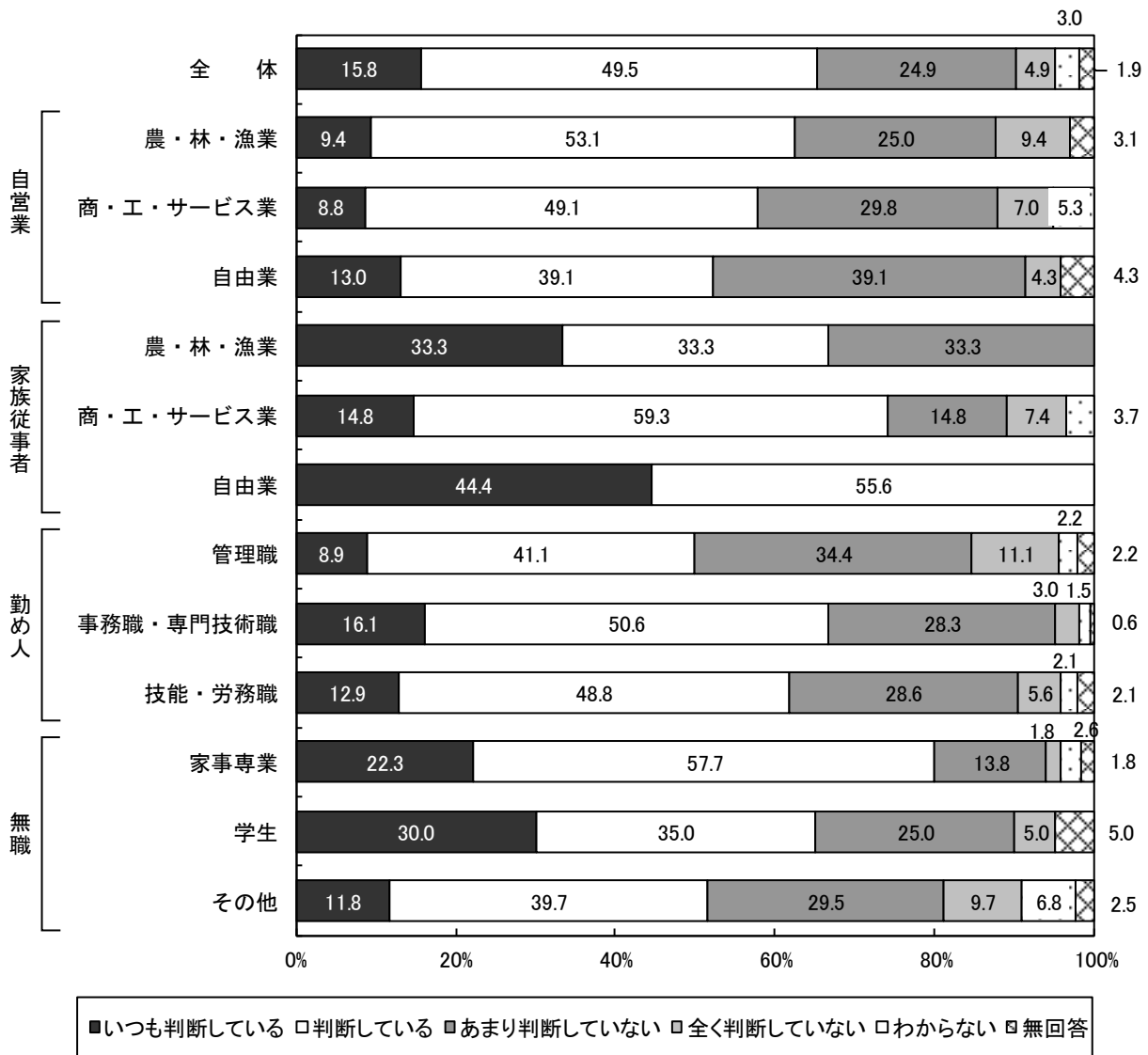
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 4.4-5 安全な食生活を送ることについての判断の程度（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,565	32	57	23	6	27	9

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
90	336	287	390	20	237	51

(人)

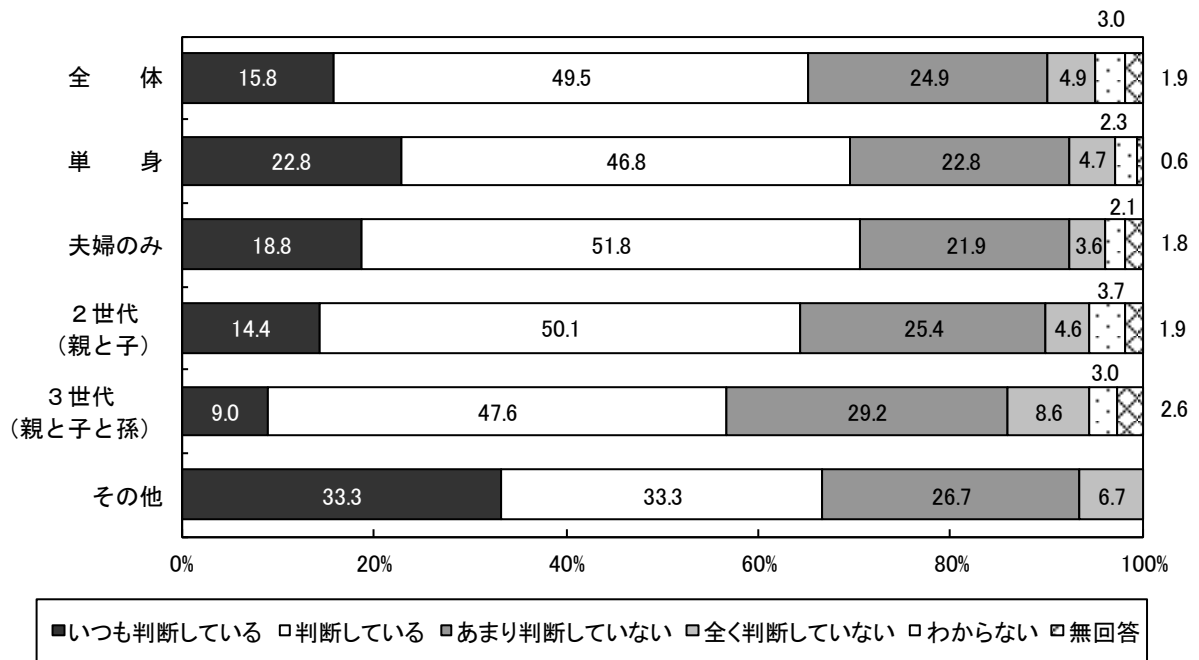
※無回答者のグラフは省略した。



## 【家族構成別】

「いつも判断している」「判断している」を合わせた割合は、夫婦のみ（70.6%）で高くなっている。

図 4.4-6 安全な食生活を送ることについての判断の程度（家族構成別）



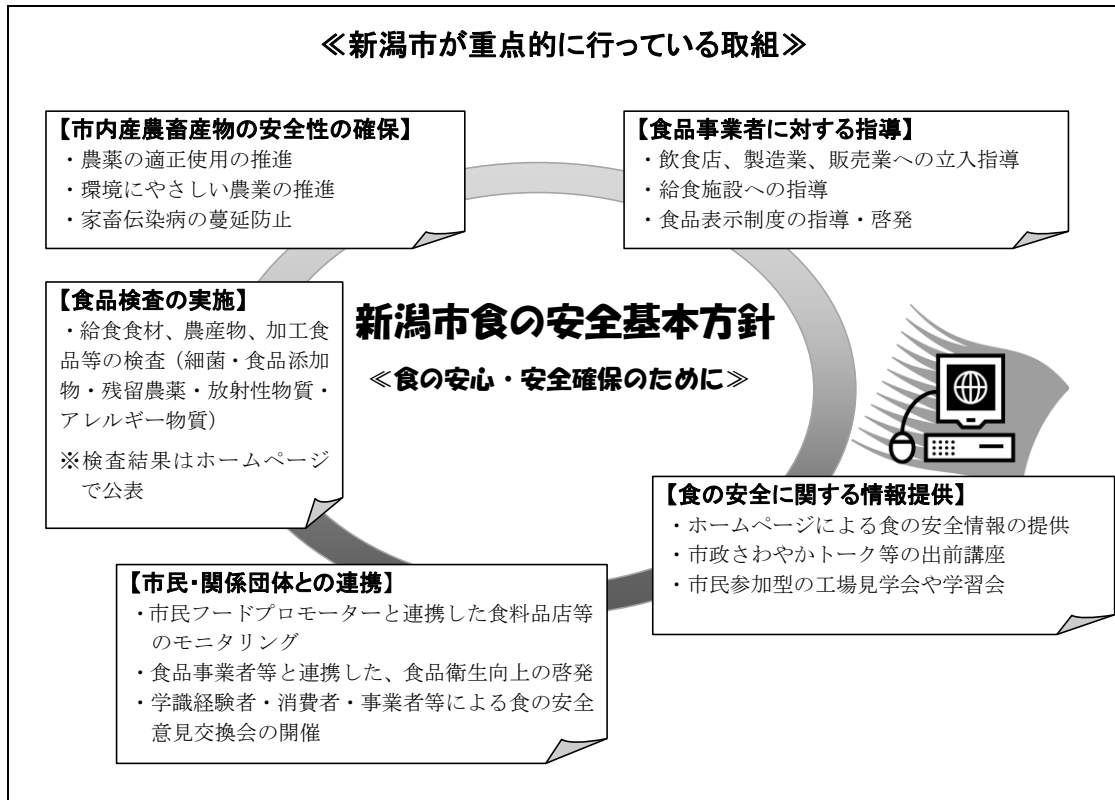
全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,565	171	384	737	233	15	25

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

## (5) 新潟市における食の安心・安全の確保に対する取組状況

問26 新潟市では、「食の安全基本方針」に基づき、下記のような取組を重点的に行っているところです。あなたは、新潟市における食の安心・安全の確保に対する取組が、十分に行われていると感じていますか。一番近いものをお選びください。(○は1つだけ)

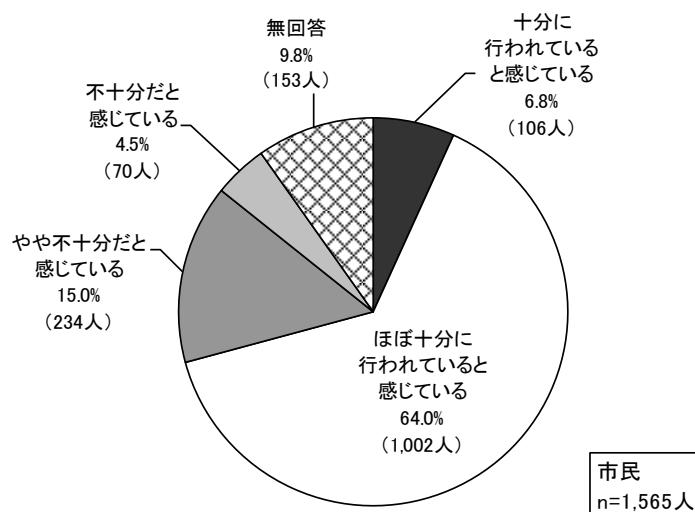


7割強が十分に、もしくはほぼ十分に行われていると感じていると回答

## 【全体結果】

「十分に行われていると感じている」(6.8%)、「ほぼ十分に行われていると感じている」(64.0%)と回答した人を合わせた割合は7割強(70.8%)となっている。「やや不十分だと感じている」(15.0%)、「不十分だと感じている」(4.5%)と回答した人を合わせた割合は2割弱(19.4%)となっている。

図 4.5-1 新潟市における食の安心・安全の確保に対する取組状況



【性別・年齢別】

「十分に行われていると感じている」「ほぼ十分に行われていると感じている」と回答した人の割合は、40歳代（75.7%）で最も高く、30歳代（66.2%）で最も低くなっている。「やや不十分だと感じている」「不十分だと感じている」と回答した人の割合は、30歳代（28.7%）で最も高くなっている。

性別では、「十分に行われていると感じている」「ほぼ十分に行われていると感じている」を合わせた割合は、各年代で女性の方が男性より高くなっている。

図 4.5-2 新潟市における食の安心・安全の確保に対する取組状況（年齢別・全体）

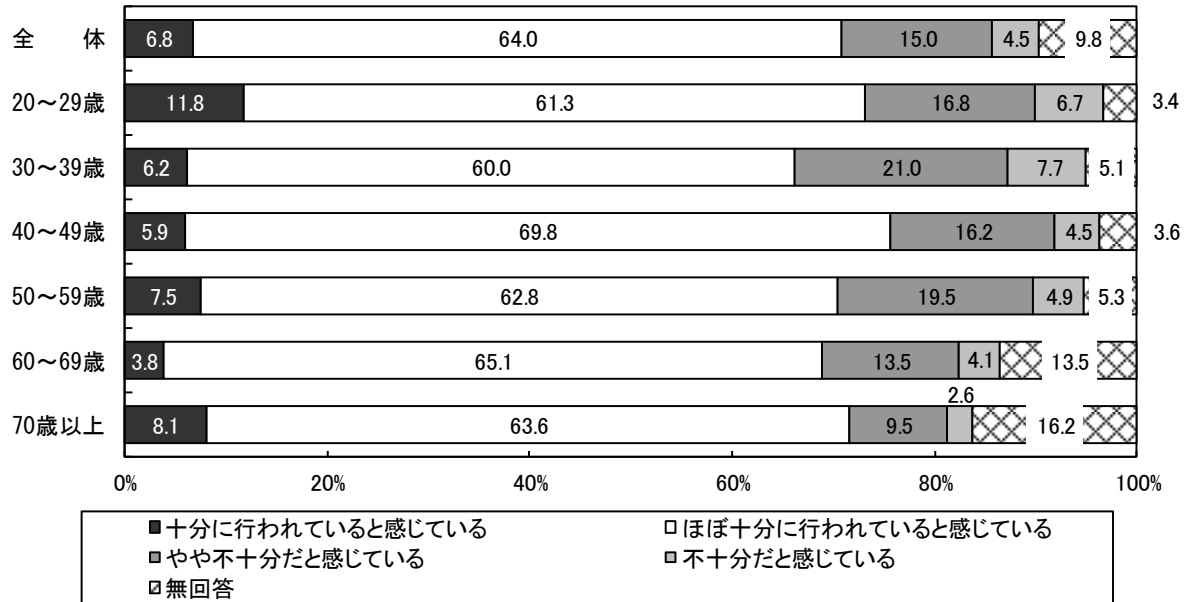
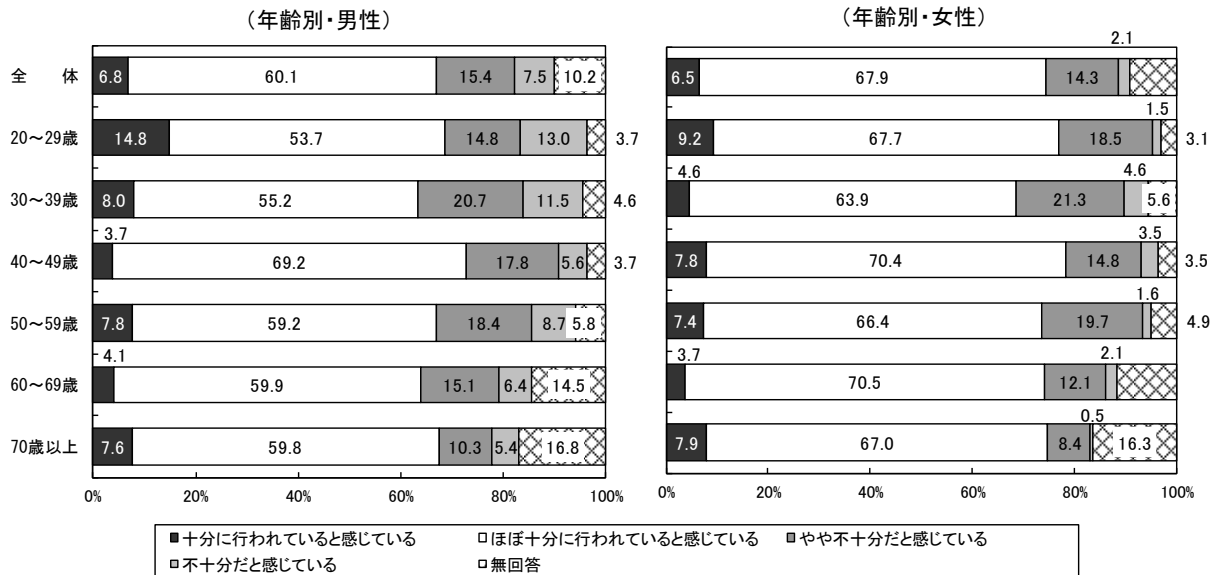


図 4.5-3 新潟市における食の安心・安全の確保に対する取組状況



	計	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	年齢不明
全体	1,565	119	195	222	226	364	420	19
男性	707	54	87	107	103	172	184	0
女性	817	65	108	115	122	190	215	2

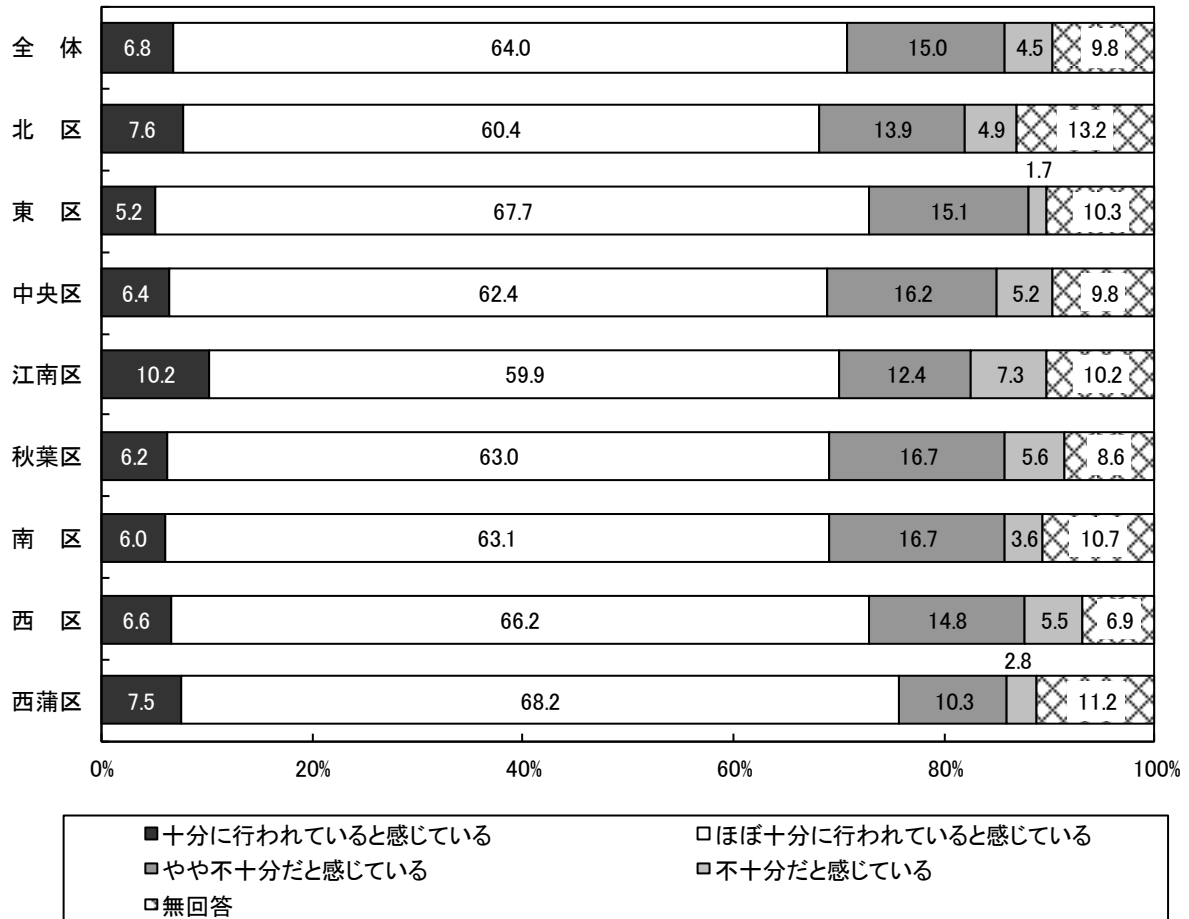
(人)

※性別不明・年齢不明者のグラフは省略した。

## 【地区別】

「十分に行われていると感じている」「ほぼ十分に行われていると感じている」と回答した人を合わせた割合は、西蒲区（75.7%）で高くなっている。

図 4.5-4 新潟市における食の安心・安全の確保に対する取組状況（地区別）



全体	北区	東区	中央区	江南区	秋葉区	南区	西区	西蒲区	地区不明
1,565	144	291	327	137	162	84	290	107	23

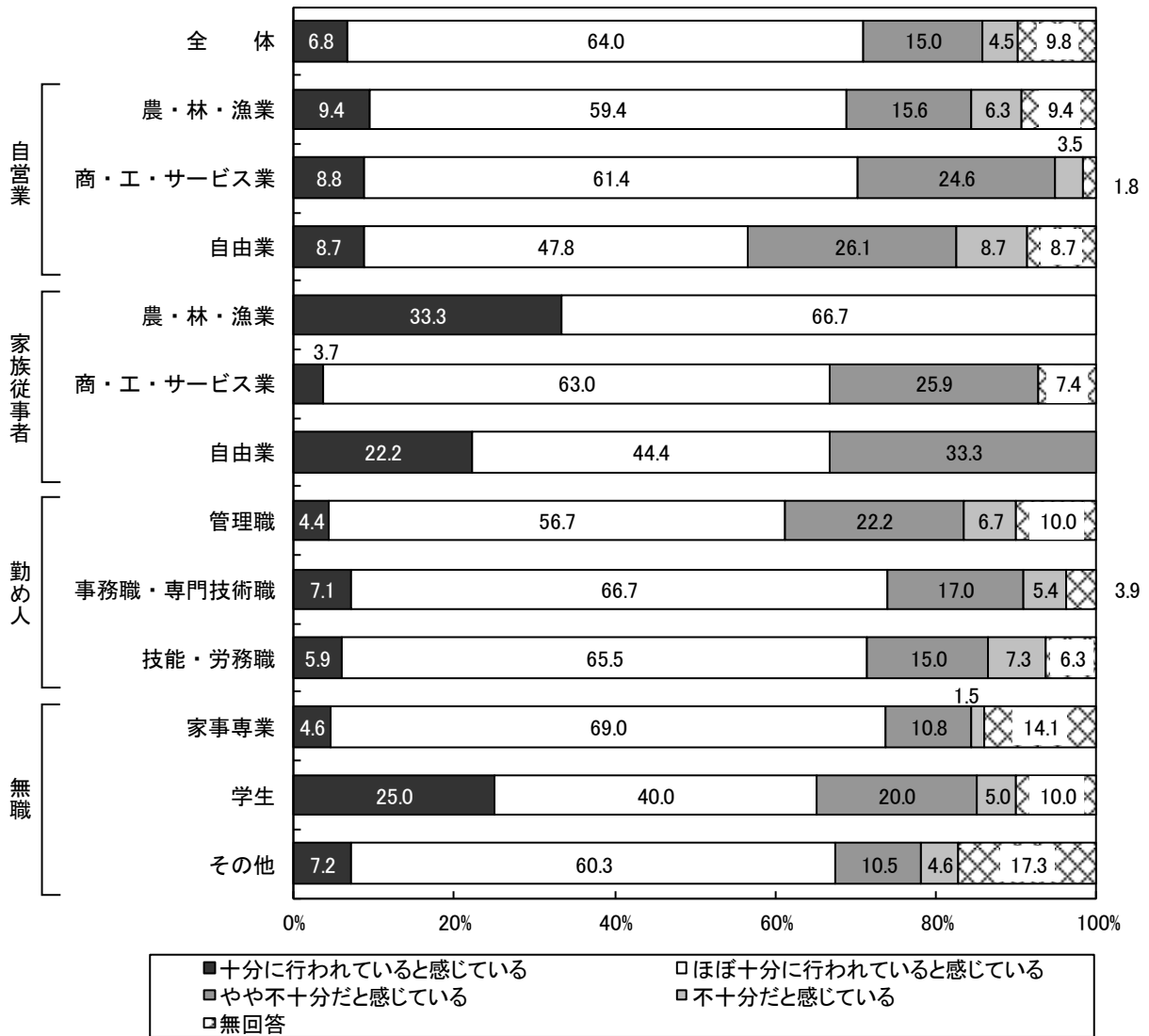
(人)

※地区不明者のグラフは省略した。

【職業別】

職種により対象者数に差があるため、図表のみの掲載とする。

図 4.5-5 新潟市における食の安心・安全の確保に対する取組状況（職業別）



全体	自営業			家族従事者		
	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業	農・林・漁業	商・工・サービス業	自由業
1,565	32	57	23	6	27	9

勤め人			無職			無回答
管理職	事務職・専門技術職	技能・労務職	家事専業	学生	その他	
90	336	287	390	20	237	51

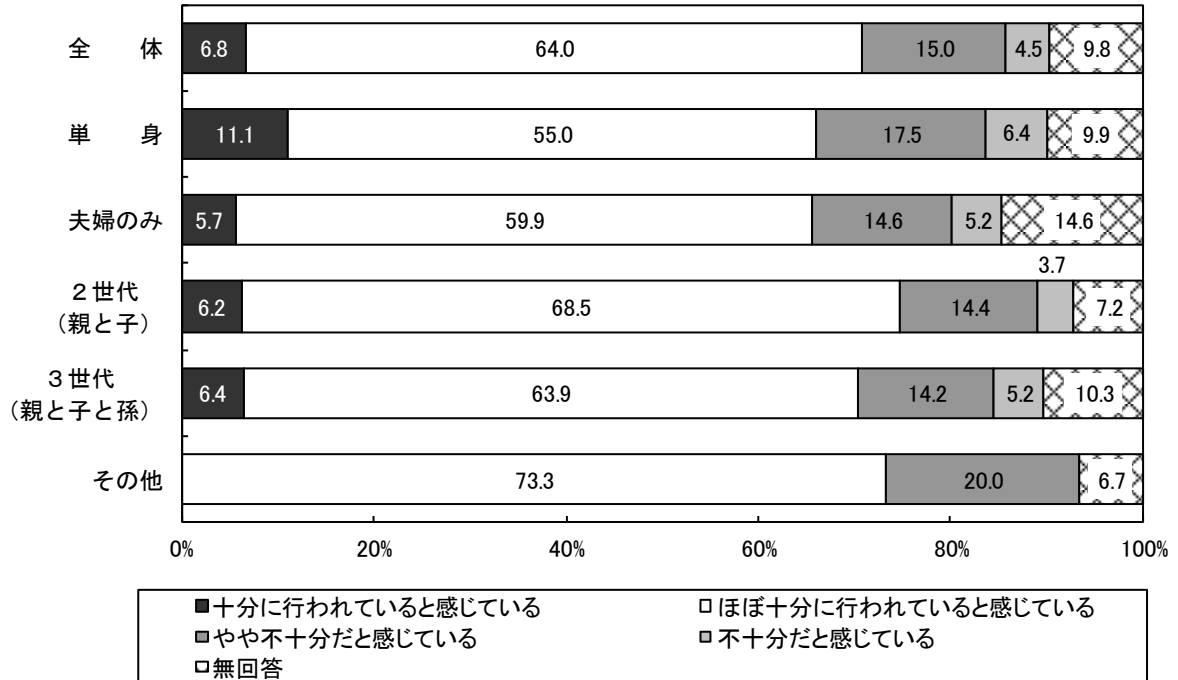
(人)

※無回答者のグラフは省略した。

## 【家族構成別】

「十分に行われていると感じている」「ほぼ十分に行われていると感じている」と回答した人を合わせた割合は、2世代（74.8%）で最も高く、夫婦のみ（65.6%）で最も低くなっている。

図 4.5-6 新潟市における食の安心・安全の確保に対する取組状況（家族構成別）



全体	単身	夫婦のみ	2世代 (親と子)	3世代 (親と子と孫)	その他	無回答
1,565	171	384	737	233	15	25

(人)

※無回答者のグラフは省略した。

## (6) 特に不十分だと感じている取組

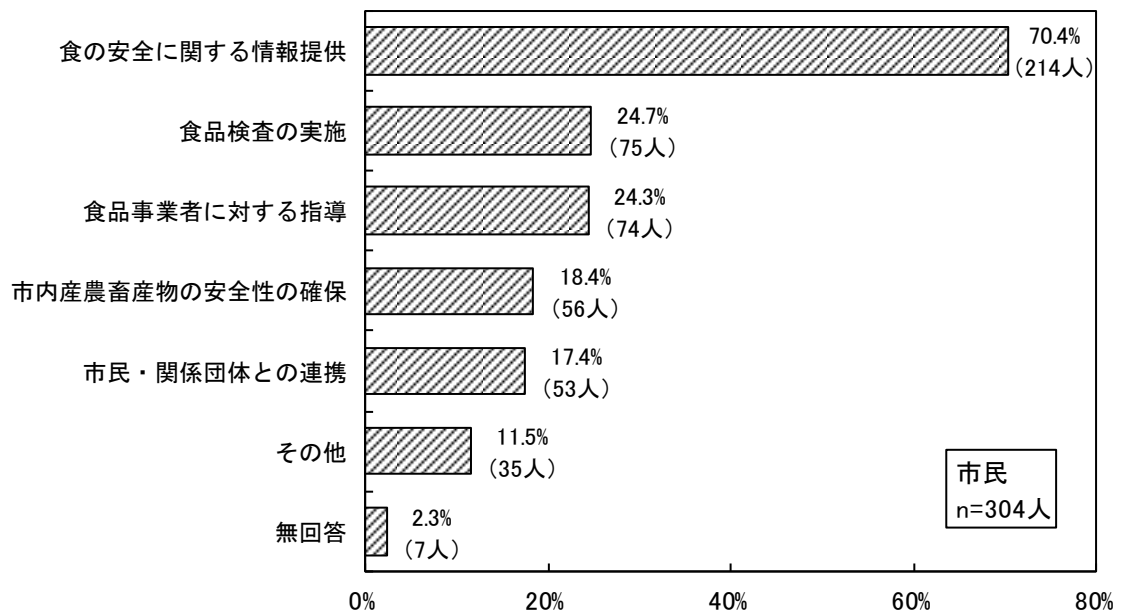
問26-1 あなたが特に不十分だと感じている取組は何ですか。(〇は3つまで)

約7割が「食の安全に関する情報提供」と回答

## 【全体結果】

特に不十分だと感じている取組については、「食の安全に関する情報提供」(70.4%)と回答した人が最も多く、以下「食品検査の実施」(24.7%)、「食品事業者に対する指導」(24.3%)、「市内産農畜産物の安全性の確保」(18.4%)、「市民・関係団体との連携」(17.4%)となっている。

図 4.6 特に不十分だと感じている取組



## 【性別・年齢別】

各年代とも、「食の安全に関する情報提供」の割合が高くなっている。

表 5.1 特に不十分だと感じている取組（年齢別・全体）

	対象者	食の安全に関する情報提供	食品検査の実施	食品事業者に対する指導	市内産農畜産物の安全性の確保	市民・関係団体との連携	その他	無回答
計	304	70.4	24.7	24.3	18.4	17.4	11.5	2.3
20～29歳	28	57.1	7.1	10.7	7.1	17.9	32.1	0.0
30～39歳	56	76.8	26.8	26.8	14.3	16.1	14.3	0.0
40～49歳	46	76.1	30.4	26.1	17.4	17.4	13.0	2.2
50～59歳	55	67.3	23.6	20.0	27.3	18.2	10.9	1.8
60～69歳	64	70.3	25.0	31.3	21.9	18.8	3.1	3.1
70歳以上	51	68.6	27.5	19.6	13.7	13.7	7.8	5.9
年齢不明	4	75.0	25.0	75.0	50.0	50.0	0.0	0.0

対象者：人/回答：%

表 5.2 特に不十分だと感じている取組（年齢別・男性）

	対象者	食の安全に関する情報提供	食品検査の実施	食品事業者に対する指導	市内産農畜産物の安全性の確保	市民・関係団体との連携	その他	無回答
計	162	67.9	22.8	25.9	12.3	16.7	16.7	2.5
20～29歳	15	46.7	6.7	6.7	13.3	20.0	53.3	0.0
30～39歳	28	78.6	14.3	25.0	0.0	14.3	21.4	0.0
40～49歳	25	72.0	24.0	32.0	16.0	8.0	24.0	0.0
50～59歳	28	71.4	21.4	14.3	21.4	21.4	10.7	3.6
60～69歳	37	56.8	27.0	40.5	16.2	24.3	5.4	5.4
70歳以上	29	75.9	34.5	24.1	6.9	10.3	6.9	3.4
年齢不明	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

対象者：人/回答：%

表 5.3 特に不十分だと感じている取組（年齢別・女性）

	対象者	食の安全に関する情報提供	食品検査の実施	食品事業者に対する指導	市内産農畜産物の安全性の確保	市民・関係団体との連携	その他	無回答
計	134	74.6	27.6	21.6	25.4	17.9	5.2	0.7
20～29歳	13	69.2	7.7	15.4	0.0	15.4	7.7	0.0
30～39歳	28	75.0	39.3	28.6	28.6	17.9	7.1	0.0
40～49歳	21	81.0	38.1	19.0	19.0	28.6	0.0	4.8
50～59歳	26	61.5	26.9	26.9	34.6	15.4	11.5	0.0
60～69歳	27	88.9	22.2	18.5	29.6	11.1	0.0	0.0
70歳以上	19	68.4	21.1	15.8	26.3	21.1	5.3	0.0
年齢不明	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

対象者：人/回答：%



## (7) 食の安全に関して必要としている情報

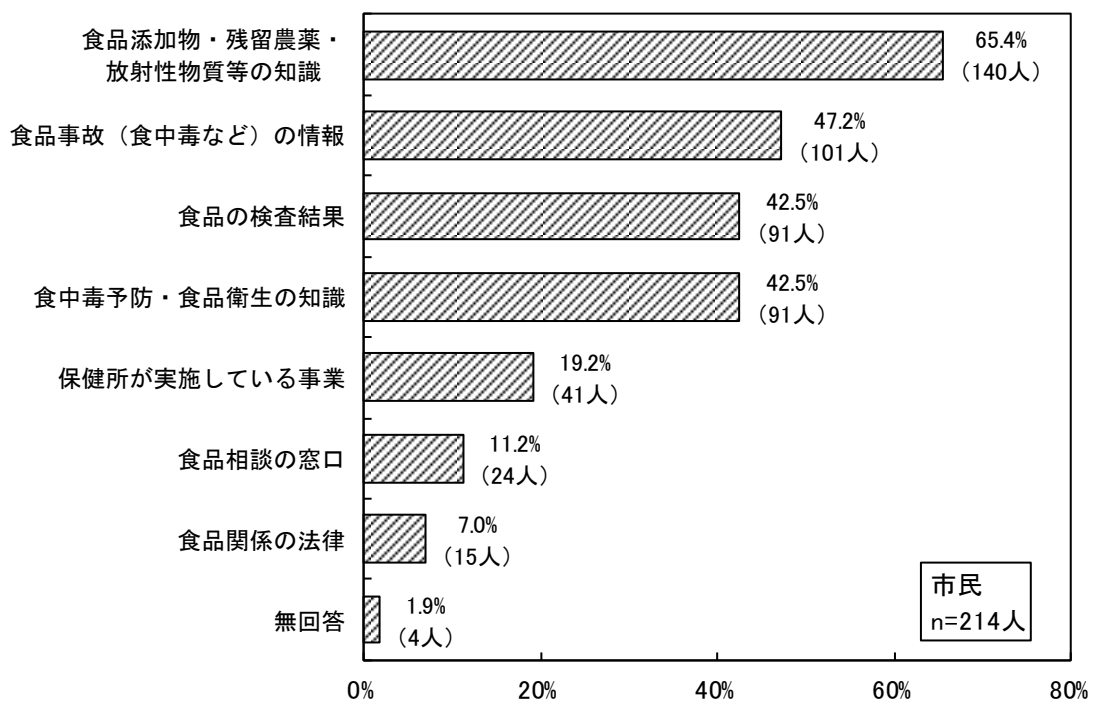
問26-1 どのような情報が必要ですか。(〇は3つまで)

7割弱が「食品添加物・残留農薬・放射性物質等の知識」と回答

## 【全体結果】

食の安全に関する情報提供が特に不十分だと感じている人が必要としている情報については、「食品添加物・残留農薬・放射性物質等の知識」(65.4%)と回答した人が最も多く、以下「食品事故(食中毒など)の情報」(47.2%)、「食品の検査結果」「食中毒予防・食品衛生の知識」(いずれも42.5%)となっている。

図4.7 食の安全に関して必要としている情報



## 【性別・年齢別】

20歳代では「食品添加物・残留農薬・放射性物質等の知識」「食品事故（食中毒など）の情報」が同率で最も高く、30歳以上では「食品添加物・残留農薬・放射性物質等の知識」と回答した人の割合が最も高くなっている。

表 6.1 食の安全に関して必要としている情報（年齢別・全体）

	対象者	食品添加物・残留農薬・放射性物質等の知識	食品事故（食中毒など）の情報	食品の検査結果	食中毒予防・食品衛生の知識	保健所が実施している事業	食品相談の窓口	食品関係の法律	無回答
計	214	65.4	47.2	42.5	42.5	19.2	11.2	7.0	1.9
20～29歳	16	62.5	62.5	31.3	56.3	0.0	0.0	12.5	0.0
30～39歳	43	67.4	48.8	30.2	41.9	18.6	7.0	11.6	2.3
40～49歳	35	68.6	37.1	40.0	42.9	22.9	14.3	2.9	2.9
50～59歳	37	59.5	43.2	51.4	48.6	13.5	13.5	2.7	2.7
60～69歳	45	68.9	46.7	37.8	42.2	33.3	11.1	8.9	2.2
70歳以上	35	62.9	51.4	60.0	34.3	14.3	17.1	5.7	0.0
年齢不明	3	66.7	66.7	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

対象者：人/回答：%

表 6.2 食の安全に関して必要としている情報（年齢別・男性）

	対象者	食品添加物・残留農薬・放射性物質等の知識	食品事故（食中毒など）の情報	食品の検査結果	食中毒予防・食品衛生の知識	保健所が実施している事業	食品相談の窓口	食品関係の法律	無回答
計	110	57.3	47.3	39.1	50.0	21.8	10.9	6.4	2.7
20～29歳	7	57.1	85.7	14.3	71.4	0.0	0.0	0.0	0.0
30～39歳	22	59.1	72.7	31.8	54.5	18.2	9.1	9.1	0.0
40～49歳	18	61.1	33.3	27.8	55.6	27.8	11.1	0.0	5.6
50～59歳	20	45.0	40.0	55.0	50.0	15.0	15.0	5.0	5.0
60～69歳	21	61.9	33.3	23.8	42.9	42.9	14.3	9.5	4.8
70歳以上	22	59.1	40.9	63.6	40.9	13.6	9.1	9.1	0.0
年齢不明	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

対象者：人/回答：%

表 6.3 食の安全に関して必要としている情報（年齢別・女性）

	対象者	食品添加物・残留農薬・放射性物質等の知識	食品事故（食中毒など）の情報	食品の検査結果	食中毒予防・食品衛生の知識	保健所が実施している事業	食品相談の窓口	食品関係の法律	無回答
計	100	74.0	47.0	45.0	35.0	17.0	12.0	8.0	1.0
20～29歳	9	66.7	44.4	44.4	44.4	0.0	0.0	22.2	0.0
30～39歳	21	76.2	23.8	28.6	28.6	19.0	4.8	14.3	4.8
40～49歳	17	76.5	41.2	52.9	29.4	17.6	17.6	5.9	0.0
50～59歳	16	75.0	50.0	43.8	43.8	12.5	12.5	0.0	0.0
60～69歳	24	75.0	58.3	50.0	41.7	25.0	8.3	8.3	0.0
70歳以上	13	69.2	69.2	53.8	23.1	15.4	30.8	0.0	0.0
年齢不明	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

対象者：人/回答：%